

令和5年度岩国市青少年海外派遣事業概要

目的：青少年の国際理解を促進し、次代を担う人材を育成する

派遣期間：令和5年7月22日(土)～8月6日(日) 16日間

派遣先：アメリカ合衆国ワシントン州エベレット市（姉妹都市）

研修機関：エベレットコミュニティカレッジ Everett Community College

被派遣者：市内在住の高校生1～3年生 14名 ならびに引率者2名

応募資格：

- (1) 岩国市民で高等学校または高等専門学校の第1・2・3学年に在学すること
- (2) 健康状態が良好で、旅行及び長期滞在に耐えられること
- (3) 海外において協調性をもって家庭生活及び研修活動ができること
- (4) 海外派遣の体験をいかし、帰国後も地域や学校で積極的に国際交流活動を行えること
- (5) 保護者の承諾がえられること
- (6) 学校長の承諾がえられること
- (7) 事前・事後研修に出席できること

※但し、過去に岩国市主催の青少年海外派遣事業に参加した人を除く

選考決定：面接及び一定の審査を行う

個人負担：個人負担金(270,000円)のほか旅券申請経費、海外旅行傷害保険料等

研修内容：英語研修、官公庁訪問や現地青少年との交流、ホームステイ ほか

事前研修

- 第1回 5月27日(日) 事業概要と各種書類の説明 ※保護者同伴
第2回 6月9日(金)
第3回 6月23日(金)
第4回 7月7日(金)

☆第2～4回英会話講師 Mr. Rolando Kallead

ホストファミリーとの会話を想定した英会話の練習や、アメリカの文化、現地訪問先などの基礎知識を学びました。



報告会

帰国後、8月22日(火)に岩国市役所で報告会が開催されました。
参加者は岩国市長・岩国市教育長・岩国市議長に、各自が与えられたトピックについてペアで報告しました。
※展示資料(ポスター)はその発表をもとに作成されました。



事後研修

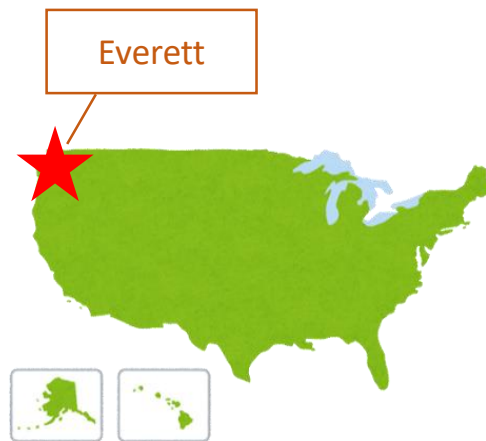
この研修で学んだことや経験したことを整理し、岩国市みなさんに研修の様子やエベレット市と周辺地域の様子を紹介するための展示資料(ポスター)と報告書(文集)を作成しました。

エベレット市での研修日程

日にち	研 修 内 容
7月22日(土)	午前：岩国錦帯橋空港を出発 (アメリカ時間) 午後：エベレットコミュニティカレッジ到着・ホストファミリーと対面
7月23日(日)	ホストファミリーと過ごす
7月24日(月)	午前：オリエンテーション、英語研修 午後：キャンパスツアー、振り返り活動
7月25日(火)	地理学ツアー&ハイキング
7月26日(水)	午前：英語研修、現地学生と昼食 午後：エベレット市街地散策、市役所表敬訪問
7月27日(木)	シアトル1日研修（1回目）
7月28日(金)	午前：英語研修 午後：ネイティブアメリカンの博物館訪問
7月29日(土) ～30日(日)	ホストファミリーと過ごす
7月31日(月)	午前：カレッジ学長表敬挨拶、英語研修、現地学生と昼食 午後：ボーイング社博物館訪問、航空学キャンパスツアー
8月1日(火)	シアトル1日研修（2回目） 夕方：ホストファミリーとスウィムパーティー
8月2日(水)	午前：英語研修、現地学生と昼食 午後：リーダーシップ研修
8月3日(木)	午前：振り返り活動、エベレット港訪問 午後：アウトレットモール訪問、現地学生の留学体験談聴講 夕方：野球観戦
8月4日(金)	午前：英語研修、現地学生と昼食 午後：修了式、さよならパーティー
8月5日(土)	午前：エベレットコミュニティカレッジを出発 午後：シアトルタコマ国際空港より帰国の途へ
8月6日(日)	夜：岩国錦帯橋空港に到着



Washington, USA Everett City



エベレット市は、アメリカ最北西部ワシントン州にあり、シアトルの北方約40キロに位置しています。面積約123Km²、人口約10万人の都市で、古くから木材パルプ、製紙等を中心に発展し、近年ではボーイング社に代表される航空産業・通信・電子工業等の先端ハイテク産業の集積する都市でもあります。

日本との時差は－16時間（夏時間）です。7～8月の気温は例年24度程度で、日本に比べて湿度が低いので大変過ごしやすいです。この時期、空は夜9時過ぎまで明るく、人々は屋外でのスポーツやレジャーを大いに楽しんでいます。



～姉妹都市提携の経緯～

エベレット市と岩国市は、1962年(昭和37年)8月1日に姉妹都市となりました。

これは1961年(昭和36年)エベレット市出身の故アグニュー氏(当時米海兵隊岩国基地所属少佐)と当時川下中学校教諭佐上緑氏の仲介で両市の中学生の文通がきっかけとなったからです。

エベレット市への青少年海外派遣事業は、1990年(平成2年)に始まり、1996年(平成8年)からは毎年行われています。2022年(令和4年)は姉妹都市提携60周年を記念して、オンラインで記念式典を行いました。



受入れ機関であるエベレットコミュニティカレッジには、錦帯橋の廃材で作られた「岩国橋」があります！

